

# 令和4年度 海外派遣学生状況

No	プログラム名称	プログラム目的及び概要	派遣国・地域名	派遣期間	所属学部・研究科	人数	単位取得者数
1	交換留学（4月派遣）	協定校の学部や大学院で、本学で専攻している分野に関連のある科目を、留学先の母語で受講し、専門科目の知識習得を目的とする。	ドイツ	令和4年4月～令和5年3月	人文学部	5	5
2	交換留学（9月派遣）		韓国			0	0
3	交換留学（9月派遣）		フランス			0	0
4	交換留学（9月派遣）		ベルギー	令和4年9月～令和5年6月		2	0 ※派遣2名とも留学中
5	交換留学（10月派遣）		ドイツ	令和4年10月～令和5年3月		3	2 ※派遣1名は留学先からの成績通知待ち
6	英語圏文化研修	英語学科生を対象に開講されている選択科目であり、カルガリー大学での研修で生きた英語を身につけるとともに、異文化を体験することで国際的な視野を広げる。	カナダ			新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止	
7	ドイツ語圏現地研修	ドイツ語学科2年次生以上の選択科目であり、事前研修、現地研修（協定校での語学研修および文化体験）、事後研修（報告書作成）を受講することで国際感覚を醸成する。	ドイツ	令和4年8月2日 ～ 令和4年9月3日		14	11 ※派遣14名の内、3名は令和3年度に新型コロナウイルス感染拡大により現地研修には参加できなかったが単位は取得済み。現地研修は令和4年度に参加
8	フランス語圏現地研修	フランス語学科2年次生以上の選択科目であり、協定校での語学研修および異文化体験を通じて、国際的な視野を広げることを目的とする。	ベルギー、フランス	令和5年2月11日 ～ 令和5年3月10日		35	24 ※派遣35名の内、11名は令和3年度に新型コロナウイルス感染拡大により現地研修には参加できなかったが単位は取得済み。現地研修は令和4年度に参加
9	タンデム学習	タンデム学習は、中国の上海財経大学と広州大学の日本語専攻の学生及び中国語を学んでいるLAの学生を対象とし、インターネットを介して互いの言語や文化を学び合う交流プロジェクトである。上海財経大学とのタンデム学習への参加者は全員2年生で、広州大学とのタンデム学習への参加者は3、4年生である。学び合う頻度と時間は、学生の都合によって異なる。	中国	令和4年8月31日 ～ 令和5年2月28日 ※学生によって期間は異なるため、上記期間は参加者全体の期間		29	単位認定のプログラムではない
10	海外法政事情Ⅰ,Ⅱ 海外法政研修	法学部2～4年次を対象に開講している科目であり、契約を結んでいる大学での語学研修、異文化およびホームステイ体験を通じて国際感覚を養成する。	カナダ			新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止	
11	国際コミュニケーション・法政事情Ⅰ,Ⅱ 国際コミュニケーション海外研修	経営法学部1年次生を対象とする「国際コミュニケーション・法政事情Ⅰ」「国際コミュニケーション・法政事情Ⅱ」「国際コミュニケーション海外研修」として実施。受入先であるソウル大学において日米関係や米国の司法制度等の講義を受講するとともに、現地の公的機関や企業を訪問する予定であった。しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大の影響により派遣は中止となり、国内研修に変更された。アメリカ総領事館担当者によるプレゼンテーションを受けたほか、日帰り研修を行うなどした。	アメリカ	令和5年2月20日 ～ 令和5年2月28日	法学部	12	12
12	アジア法セミナーⅠ（アジア太平洋法政事情）	法学部2年次生以上の専門科目「アジア法セミナーⅠ（アジア太平洋法政事情）」として実施。受入先であるビクトリア大学ウェリントンに直接訪問する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により派遣は中止された。その代替措置として、現地とオンラインで結んでニュージーランドの司法、政治、経済、歴史、文化等の講義を受講するなどした。また、学生は英語でのプレゼンテーションを行った。本海外研修は、福岡大学学部教育充実予算の支援を受けて行われた。	ニュージーランド	令和5年2月1日 ～ 令和5年2月16日		15	14
13	夏季集中講義（経済学ジョイントコースA）	日韓経済比較がテーマの交流事業を実施し、本学の学生と蔚山大学の学生が意見交換をした。	韓国	令和4年8月1日 ～ 令和4年8月8日	経済学部	24	30 ※30名の内、6名は韓国への派遣はなかったが単位を修得した者
14	夏季集中講義（経済学ジョイントコースB）	「多言語コミュニケーションを通じた社会経済理解」をテーマとした交流研修をオンラインで実施し、本学の学生と臺中市静宜大学の学生が、日臺関係などをめぐる討論会を行った。新型コロナウイルス感染拡大により台湾に派遣することができなかったため、代替として韓国への派遣を実施した。	台湾（オンライン交流） 韓国（台湾派遣の代替として派遣）	令和4年9月3日 ～ 令和4年9月10日		22（オンライン交流） ※22名の内、2名は韓国派遣	20
15	海外交流ゼミナール	海外の大学との交流、プレゼンテーション、意見交換会を実施する。	海外の大学		商学部	新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止	
16	化学国際演習・ナノサイエンス国際演習	韓国蔚山大学校理学部とオンライン形式でセミナーを開催した。セミナー初日（8/16）は蔚山大学校の教員1人、福岡大学の教員1人の特別講演とインドネシア、中国の研究者2人の招待公演を開催した。2日目（8/17）、学生自身の研究を英語により口頭およびポスター形式で発表した。	韓国	令和4年8月16日 ～ 令和4年8月17日	理学部	11	10
17	啓明大学交換BSLプログラム	協定校における臨床実習であり、意見交換を通して相互の国際化を目指す。	韓国		医学部 （医学科）	新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止	
18	コンケン大学交換BSLプログラム	このプログラムは、福岡大学医学部医学科とタイ・コンケン大学との間でBSL（臨床実習）の体験交流と教員間の学部教育に関する意見交換を通り、互いに国際化を目指すことを目的に実施している。	タイ				新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止
19	海外看護研修（啓明大学校）	協定校である啓明大学校看護学部との友好を深め、保健・医療・福祉の現場の見学研修を通じて看護、伝統、文化、歴史を学び、多角的視点から異文化を理解し得る国際感覚を要請する。	韓国		医学部 （看護学科）	新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止	
20	米国看護研修	高い専門性と身体アセスメント能力を特徴とする米国の先進的な看護を学ぶことにより、自己の看護観を育成する。また、異なる文化や社会背景を持つ米国の看護を学ぶことや、そこで生活する人々と交流することにより、グローバルな感覚と視野を育成する。	アメリカ	令和4年8月16日 ～ 令和4年8月17日			新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止
21	MPCアメリカ研修	薬剤師のすべきことは何か？アメリカの薬局から学ぶことに焦点を置いたプログラムで講義や英語でのディスカッションに加え、大学病院の見学等で薬学の意味を学ぶことを目的とする。	アメリカ		薬学部	新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止	
22	薬学プログラム	英語で薬学について学ぶことを目的としており、現地の薬局や病院、老人ホーム等の施設を訪問し、薬剤師、看護師、医療従事者からニュージーランドでの医療や薬学について学ぶ。また、ホームステイを通じ、英会話による異文化とのふれあい、国際人としての素養身につけることを目的とする。	ニュージーランド				新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止
23	交換留学	大学間協定に基づき、本学で専攻している分野に関連のある科目を、留学先大学で受講し、専門科目の知識習得を目的とする。	イギリス	令和4年8月 ～ 令和5年7月	全学部	2	留学中
			フランス			4	
			ベルギー			0	
			フィンランド			0	
			スペイン			0	
			ブラジル			0	
			韓国	令和5年2月 ～ 令和6年1月		12	
			台湾			0	
			中国			2	
ベトナム		0					
24	海外研修	初級・中級レベルの韓国語学習を中心に、文化・歴史・自然などの知識を習得し、現地学生との交流を通じて国際感覚の養成を図ることを目的とする。	韓国			新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止	
25	海外研修	アメリカ：2泊3日のホームステイ体験と学生寮で宿泊しながら、協定校において学生の語学力に合わせた会話中心の英語授業の受講と観光地を訪れ、アメリカの文化と歴史に触れる。オーストラリア：全期間ホームステイで、協定校の付属機関における英語の授業を受講し、小旅行で環境保護に力を入れているオーストラリアを体験する。	アメリカ オーストラリア	令和5年2月18日 ～ 令和5年3月18日		応募人数が定員に到達しなかったため、中止	
26	海外語学研修	英語を総合的に勉強し、見学研修を通して多角的視点から異文化を理解し、国際感覚を養成することを目的とする。	イギリス アメリカ ベトナム			新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止	
27	海外語学研修	中国語を総合的に勉強し、見学研修を通して多角的視点から異文化を理解し、国際感覚を養成することを目的とする。令和3年度はオンラインプログラムを実施。	中国	令和5年2月26日 ～ 令和5年3月10日		応募人数が定員に到達しなかったため、中止	

延べ派遣学生数

192

128